

# 都市再整備計画事後評価に係る流山市街づくり委員会 会議録

## 目 次

1	開催日時及び場所 .....	1 ページ
2	出席した委員及び職員及び傍聴者数 .....	1 ページ
3	概要 .....	2 ; ページ ~ 11 ページ

### 1 開催日時及び場所

日 時：平成26年3月20日（木）午後3時50分から午後5時00分まで  
場 所：流山市水道局会議室

### 2 出席した委員、職員及び傍聴者数

#### (1) 委員会委員

- 北原 理雄 (学識経験を有する者)
- 林 美栄子 (学識経験を有する者)
- 野口 和雄 (学識経験を有する者)
- 後藤 信利 (学識経験を有する者)
- 小川 哲也 (公募による市民)
- 谷口 晶子 (公募による市民)
- 伊藤 治夫 (公募による市民)

#### (2) 職員

都市計画部長	石本 秀毅	土木部長	吉田 光宏
都市計画部次長 兼 都市計画課長	亀山 和男	道路建設課長	遠藤 茂
都市計画課 課長補佐	長橋 祐之	道路建設課 課長補佐	石井 菊次
都市計画課 主事	松田 勇作	道路建設課 道路建設係長	池田 輝昭
まちづくり推進課 技師	柿沼 直		

#### (3) 傍聴者

なし

### 3 概要

#### 事務局

それでは定刻となりましたので、街づくり委員会を開催します。はじめに、都市計画部長の石本よりご挨拶をさせていただきます。

#### 石本都市計画部長

本日は、皆様には、お忙しい中、また、お足元の悪い中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。加えて、悪天候の中での現地視察、お疲れ様です。

都市計画部長の石本です。

本日の議題は、流山市が、国の交付金制度である、社会資本整備総合交付金を利用して実施した、江戸川台西地区都市再生整備計画事業に係る事後評価です。社会資本整備総合交付金制度では、その事業終了後、第三者機関に、事業に関する評価を求めるという規定がございます、その評価を、街づくり委員会をお願いするものです。事業の詳細等については後程、担当より説明させていただきます。

北原委員長はじめ、委員の皆様におかれましては、慎重な御審議、よろしくお願いたします。簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。

#### 事務局

続いて委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

< 委員紹介 >

#### 事務局

続いて、本日出席の市職員の紹介をさせていただきます。

< 職員紹介 >

#### 事務局

申し遅れましたが、本日の進行をさせていただきます、都市計画課の長橋と申します。よろしくお願いいたします。それでは、本日のお手元の資料の確認をさせていただきます。本日使用します資料は、

A 4 サイズの「流山市街づくり委員会」と書かれた説明用パワーポイントを印刷したもの

A 3 サイズの「都市再生整備計画事後評価シート」

A 3 サイズの先ほど現地視察でお配りしたもの

以上です。お持ちでない方などいらっしゃいましたら、事務局までお申し付けください。

< 資料の確認 >

#### 事務局

なお、本日は街づくり委員会委員 9 名のうち、7 名の出席をいただいておりますので条例の規定に

より会議が成立していることをご報告申し上げます。また、本日の委員会は、午後5時の終了を予定しておりますのであらかじめご了承ください。それでは、この先の委員会の進行につきましては、北原委員長にお願いしたいと思います。北原委員長よろしく申し上げます。

北原委員長

みなさん、お疲れ様です。本日の議題は、流山市長より諮問のあった「江戸川台西地区都市再生整備計画事業に係る事後評価」です。

はじめに、お伝えいたします。今回、諮問のあった事業については、流山市土木部所管の事業であることから、市職員の土木部長である吉田委員には、委員としての出席を求めず、事務局として出席していただいております。御異議ございませんか。

異議なしの声

北原委員長

ありがとうございます。それでは事務局から、諮問する案件についての説明してもらいたいと思います。事務局、説明をお願いします。

遠藤道路建設課長

道路建設課、課長の遠藤です。宜しくお願い致します。

それでは、平成20年度から24年度に整備を実施しました、「江戸川台西地区都市再生整備計画に係る事後評価」について報告をさせていただきます。A4版の資料をご覧ください。流山市街づくり委員会と書いてあるものです。

まず、都市再生整備計画事業の概要についてですが、この事業が都市再生整備計画事業として、位置づけられた経緯ですが、都市再生整備計画事業は当初、平成16年度に「まちづくり交付金」として国土交通省が創設したものです。その後、平成22年度より「社会資本整備総合交付金」に統合され、当交付金の市街地整備分野における基幹事業に「都市再生整備事業」として位置づけられたものです。都市再生整備計画事業とは、基幹事業（道路、公園、河川、下水道等）地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を目的とし、市町村が総合的なまちづくりを一体的に計画実施することができる事業です。非常に良い制度ですが、事前、事後評価を国に報告をすることが求められるものとなっております。まちづくりの流れについては、図に示す通り事前評価、事業の実施、事後評価、改善という流れで次期計画へ反映させていくものです。

次に、江戸川台西地区のまちづくりの概要についてですが、先程、現地を見ていただいた計画区域と主要事業の位置図です。図面右上から、江戸川台駅西口駅前広場の改修事業、駅から北部公民館に向かったの点字ブロックの設置事業、交差点の改良事業（コンパクト化）、踏切の拡幅事業（歩道整備）、市道東深井市野谷2号幹線整備事業、が主な事業です。

P7をご覧ください。これは、事業着手前に、まちづくりの目標と指標を定めたものです。大目標として、交通環境の整備を契機とした住環境の向上を図り、誰もが安全かつ快適な地域生活拠点づくりを目指すこととしております。

（目標1）流山新拠点との地域連携を図る。 流山新拠点とは、おおたかの森駅周辺のことです。

- (目標2) 地域生活拠点として安全かつ安心して歩ける歩行環境の拡充を行う。
- (目標3) 地域生活拠点として安全性と利便性の高い交通結節点の再整備を行う。

事業効果を測る指標としては、

- (指標1) 流山新拠点とのアクセス時間
- (指標2) 地区内の歩行移動時間
- (指標3) バスと鉄道の乗り換え所要時間

以上について、目標及び指標といたしました。

8ページ～10ページをご覧ください。先程、現場を見ていただいた、主要事業の施工前と施工後の比較写真です。8ページの、市道東深井市野谷2号幹線は、行き止まりであった道路を整備したことにより地域連携を図ることができたものです。9ページは、安全かつ安心して歩ける歩行環境の整備として、誘導ブロックの設置、大型交差点のコンパクト化、踏切内の歩道整備を行ったものです。10ページは、江戸川台西口の安全性と利便性の高い交通結節点の再整備として、安全な歩行導線の確保を図るとともに、それらを支援する施設整備を行ったものです。どれも、利便性、安全性が向上していることが分かります。

次に、事後評価の概要についてです。事後評価の目的ですが、交付金がもたらした事業成果等を客観的に診断し、効果発現の要因を分析して、今後のまちづくりを適切な方向に導くとともに、これらを住民にわかりやすく説明することを目的としております。主な実施内容といたしましては事業効果の検証、これは指標の計測を行います。事後評価シートの作成、実施状況、効果の検証、課題の変化や今後のまちづくり方策等を検証いたします。

13ページをご覧ください。事後評価の実実施スケジュールについてですが、の成果の計測からの住民への公表・意見受付は、流山市ホームページにて、2週間程掲載させていただきました。本日、委員会で審議していただいた内容を踏まえ、今後、事後評価シートの国への提出を5月、住民への公表を6月に予定しております。

14ページ～15ページをご覧ください。委員会の目的ですが、事後評価作業が適切に遂行されたか確認していただき、今後のまちづくり方針等について意見を求めることを目的としております。また、15ページの委員会での審議事項としては、事後評価手続き等にかかる審議として、成果の達成度、実施過程の達成度、事業の効果発現要因の整理を確認し、今後のまちづくり方策にかかる審議の妥当性を確認していただくものです。

次に、事後評価の結果についてですが、成果の達成度評価をまとめたものがあります。18ページ～21ページをご覧ください。18ページは、数値指標の結果一覧です。詳細については19ページをご覧ください。「指標1：流山おおたかの森駅から江戸川台駅西口までの自動車交通による移動時間」ですが、平成19年当時、10分の従前値に対し目標値を7分と設定いたしましたが、実測値は7.7分でした。目標値を達成できなかった主な要因としては交通量の増加、信号機の増設等が考えられます。結果として、目標値を下回ったものの、従前値より向上しているため達成度は としました。「指標2：幹線道路未整備区間の歩行時間」ですが、従前値11.3分に対し目標値8.5分と設定したところ、実測値は5.9分でした。目標値を達成したため達成度は としました。「指標3：西口駅前広場バス乗降場と駅舎出入口間間の歩行時間」ですが、従前値1.5分に対し目標値0.67分と設定したところ、実測値は0.42分でした。こちらにおいても、目標値を達成したため としました。

次に実施過程の評価について、23ページをご覧ください。住民参加実施状況ですが江戸川台駅西口広場づくり懇談会を設置し、平成20年12月から平成22年3月の期間で、合計8回の懇談会を実施し、意見をいただき計画に反映しました。構成団体は、お示しのとおり、周辺5自治会と近隣2商店会の7団体でございました。また、懇談会において、住民アンケートも実施しております。

次に事業の効果発現要因の整理について、25ページをご覧ください。各実施事業が効果を発揮し、指標に貢献しているか等を整理した表です。

事後評価シート原案の公表は、平成26年1月27日～2月10日まで、市のホームページに掲載し意見を募集させていただいたところ、公表における住民からの意見は特にありませんでした。

次に、今後のまちづくり方策について28ページをご覧ください。事業前の課題が事業の実施により、どのように変化したかをまとめたものです。「課題1：流山新拠点と地域連携」については市道東深井市野谷2号幹線が完成したため、アクセスが向上し、地域連携が図れるようになりました。また、安全性を確保した通行も改善することができました。「課題2：安心安全な歩行環境の整備」については歩道整備とバリアフリー化を図ったことにより、安全な歩行環境が整備されました。今後は、効果を持続させるため、維持管理を実施します。「課題3：交通結節点（江戸川台駅西口広場の再生）」についてはバスと鉄道の乗り換えの利便性・安全性が向上いたしました。これについても、今後は、効果を持続させるため、維持管理を実施してまいります。事業によって、発生した新たな課題として、道路が整備されたことにより、その結果、交通量が増えた。通行車両の走行速度が上がったなどの問題が生じてきました。当然ながら、改善する事項として、市道東深井市野谷2号幹線の交通安全対策・改善方針として、運転手への注意喚起を実施していきたいと考えております。また、想定される事業として、注意勧告施設、補助標識等を設置します。

32ページをご覧ください。次期計画への生かし方について今回のまちづくりの評価を分析したところ、うまくいった点として、計画時における「地元懇談会」を設立したことにより、幅広い利用者の意見が反映された、広場改修が実施されたことに対し、地域住民の方は非常に喜ばれていました。また、これに満足することなく、次期計画や他地区への活かし方として、今後も、住民参加によるまちづくりを実施する必要があるという見解で報告書をまとめました。

最後に34ページをご覧ください。今後のスケジュールですが、本日の委員会での審議内容をふまえ、事後評価シートを事務局にて再整理したのち、5月末には、事後評価結果を国へ報告したいと思っております。また、国で事後評価結果を確認後、6月末には事後評価の結果を、広報及びホームページにて報告したいと思っております。

以上で、概要説明を終わります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

北原委員長

ありがとうございました。それでは委員会に先だって行った現地視察での質問等も含めまして、意見交換を行っていききたいと思います。

野口委員

私は整備される前の段階では、江戸川台駅には1、2回しか訪れたことがないので、もっとご存知な方々の前でこのようなことを言うのは恐縮ではありますが、定性的に見れば整備の効果はあるよう

に思えました。このように私が考えていることを前提にいくつか教えていただきたいのですが、利便性という意味では、数字で図る部分では、バス停までの距離や徒歩で要する時間などわかりやすい部分であると思うのですが、安全性という部分については、数字では表しにくい部分であると思います。ですが、障害者や高齢者の方から、使いやすくなった、安全に感じられるようになったなどの意見は、住民の方々からアンケートを取れば、数字の上でも評価ができると思います。施工者が定性的に評価しても、その評価が悪くなることは考えにくいから、主観的な指標だけではなく客観的な指標として住民や利用者にアンケートを取るべきではないかと思うのですが、その点どのように意見聴取等を行ったかお聞かせ願います。

また、計画の策定段階から住民が参加したことにより、住民の街づくりへの意識が高まったということであり、これは非常に素晴らしいことだと思うので、折角ですから、今後の維持管理にも住民の方々に参加してもらうことで、市の財政負担や駅前のにぎわいなどの面から見てもよりよいことではないかと思います。住民で可能な植栽の維持管理などはなるべく住民にやっていただくことで、公的な空間を住民が愛するようになり、より良く使っていこうという気持ちになっていくかと思います。計画策定のプロセスにおいて、折角関心が出てきたという事実は、この整備計画自体の効果として位置付けられてもいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

遠藤道路建設課長

野口委員の言ったとおり、安全性の指標についてはとても苦労した部分です。本来はアンケートを実施して安全性の指標を数値化すべきと認識しておりますが、今回の計画については、アクセス時間等の指標で判断をさせていただきました。安心面については、バリアフリーの重点地域として誘導ブロック等の設置をさせていただきましたが、それだけでは指標とは言えないでしょうから、今後アンケート等も実施していかなくてはいけないとは考えておりました、検討事項としていただければと思います。

野口委員

もし地区内に車いすの方などいらっしゃいましたら、一緒に歩くなどして感想をその場で聞くなど、住民参加で評価をしたということ自体が評価できることなので、手法等を検討していただければと思います。

遠藤道路建設課長

歩道につきましてもセミフラット、段差のない設えにし、安全な歩行という観点からは歩車道の分離などを行いました。

野口委員

そのような事についても、住民の方と協働で評価を行い、地域への効果を測ってみるというやり方が、私としては効果のあるやり方だと思いますので、ご検討いただければと思います。

遠藤道路建設課長

もう1点の住民自身での維持管理についてですが、江戸川台西口の広場には大きな木があり、冬場

は多くの落ち葉が堆積しますので、地元の方にもご協力いただいてすでに実施しております。ただ何を誰がどうするかといった具体的な手法については決まっておきませんので、そのような事も含めて今後地元の住民の方々に協力していただけるような方策を考えていきたいと思ひます。

#### 野口委員

事業計画の策定を住民参加で行った結果、管理についても住民の関心の高まりによって自主的に行われるようになったといった事を、事後評価シートにも書いていただければと思ひます。さらにそれをどう促していくかといったことも追記してもらえばなお良いかと思ひます。

#### 北原委員長

事後評価シートに数値以外のことを書き込むとすると「(4) 定性的な効果・発現状況」の部分になるかと思ひます。ここが空欄になっているのはとてももったいないので、例えば安全面の話であれば、地区内にもし障害者の方がいらっしゃるのであれば、野口委員が言ったように一緒に歩いて話を聞くことや、アンケートをやるのは大変なので自治会長さんなど何人かに意見を聞くなどして、ここに書き込んではいかがでしょうか。住民の自主的な清掃活動についても同様です。この部分は、そのようなことを書いてほしいためにあるのではないかと思ひます。追加の作業が発生することになってしまひますが、安全面の客観的・定性的評価についてもここに書くことによって、より充実した評価シートになるかと思ひます。

#### 吉田土木部長

地元の方々からも、広場が良くなったといったご意見もいただいております。

#### 北原委員長

計画段階で参加していただいているとのことなので、事後報告といった意味も兼ねて聞いて回るとは、市がそれだけ事業後のことも気にかけているというメッセージになりますので、ヒアリングを行ってください。

#### 伊藤委員

ヒアリングは私もとても重要だと思ひています。私が少し残念に思ったことは、説明資料の中で、次期計画への活かし方といった項目が、抽象的な表現しかなく、もう少し具体的に書いて欲しいということです。事業実施後に残された課題は、何一つないというのはいかがなものかと思ひます。確かにより良い報告を出すことも必要でしょうが、事業の中で何か反省点を見出すことも重要なことではないでしょうか。また、計画策定にあたって行ったアンケートは、自治会や商店街の方々であって実際の利用者ではないのも少し疑問です。

#### 石井道路建設課課長補佐

アンケートは懇談会の中で一つの作業として実施しました。総数としては4,424通発送し、そのうちの45%を回収しました。そこでいただいた意見を懇談会で揉ませていただき、計画の策定に繋がったということです。

北原委員長

資料の「残された課題」という部分は、全て記載がありませんが、事業によって発生した新たな課題という部分に書いてあることが、そこに対応する部分なのかと思います。

後藤委員

私は地元の住民ですので、住民としての意見になりますが、東口ロータリーのタクシープールについては、ところてん方式とでも言いましょうか、あのような作りには疑問を感じていましたが、今回西口のロータリーは、私が理想としていたようなスリムな形になり、設置場所も他の交通の妨げにならないので、好感を持っています。バスの発着場についても、以前は駅の反対側だったものが手前になりました。東口ではバスやタクシーを含めた乗用車の乗降によって交通の便が悪く感じられることも多かったのですが、その点、西口は良くできていると思います。また、整備前に幅員が広すぎた道路についても適正に整備がされ、南の踏切部分も広がったことで歩行者も自転車も通りやすくなりました。一部、車のスピードが前より出しやすくなった箇所があり少し危険に感じることもあります。

北原委員長

交差点を改良したことによって車が走りやすくなり、スピードが出てしまうことに危険を感じるということがあるという意見です。まだ未整備の箇所については、今後、検討を要する事項と言えますね。

谷口委員

事後評価シート原案の公表についてですが、これはなぜインターネットだけで広報を利用しなかったのでしょうか。以前地元の話でも出たのですが、市のHPを定期的に見ている人は、そう多くはないと思いますし、知らない間にこのような事は終わっていたということが多々あります。これだけで公表しましたと言われても住民としては、疑問に思う部分もありますので、アンケートを行わないのであれば広報で掲載すべきではないでしょうか。残された課題の部分について記載がないですが、利用している住民としては、出来上がったものに100%満足するということはまずありえないと思いますので、不満の強い弱いはあるかと思うのですが、広く意見を聞ける手段としてせめて広報に掲載をして、そこから意見を吸収する形を取った方が良いかと思います。

北原委員長

広報掲載を行わなかった理由はあるのでしょうか。

遠藤道路建設課長

時間的な問題が大きく、HPのみでの周知となってしまいましたが、最近の市の傾向としてパブリックコメントにおいてもHPでの周知を行うケースが多いので、それに習って行ったという部分もございませぬ。事後評価の報告については、報告を広く周知してもと思われるかもしれませんが、広報も利用して行っていきたいと思っています。

小川委員

江戸川台駅には私自身あまり行った事はありませんでしたが、先ほど視察させていただいた際には、非常にすっきりしていて、シンボルとなる大きな木もあり、とても良い印象を受けました。評価シートについてですが、これは国土交通省が定めた様式なのでしょうか。

遠藤道路建設課長

そのとおりです。

小川委員

このシートを見ると、景観が良くなった、環境が良くなったといったことを書く場所がなく、一般的には伝わりにくい事後評価になっていると感じます。先ほど話のあった「(4)定性的な効果・発現状況」といったところに、そのような記述を書き加えた方がいいのではないかという印象を持ちました。

計画自体で少し残念に感じたことは、東武鉄道の敷地と駅広場の舗装などの一体性がとれていないと感じられたことです。そのあたりに一体性を持ってできたらもっと良かったのではないかと思います。

伊藤委員

東武鉄道には、一体的な整備に関する働きかけは行ったのでしょうか。

石井道路建設課課長補佐

今回の計画は、以前のタクシー乗り場を含めた位置の改変等、東武鉄道の敷地も含めて整備をしており、工事の着手以前から機会があるごとにお話しをさせていただきました。

北原委員長

シンボルツリーの件については、定性的な効果の部分に追記をお願いします。地元の強い要望により残して、それが景観の質を高めているといった記載が望ましいかと思います。

林副委員長

先ほど話のあった障害者の方へのヒアリングについては、「(5)実施過程の評価」の中にモニタリングという記載があるので、実施してここに書くべき事項ではないでしょうか。また、計画が終わったこれからも、計画策定の際にアンケートをとった7団体と関わり合いを持っていくのであれば、持続的なまちづくり体制の構築という部分で記載が可能なのではないのでしょうか。

北原委員長

確かにここに記載できそうな事項ですね。

林副委員長

個人的には、個人用乗用車の乗降スペースがあるのは、利用者として歓迎すべきことと思います。

谷口委員

東口では、それは作らなかった経緯があります。一般車が乗り降りすることが迷惑なので作らないで欲しいという考えだったそうです。

林副委員長

西口にはエレベーターもあり、一般車の乗降スペースもあるので、東側にお住いの方が、あえて西口を利用する方も多いという話も聞きます。

谷口委員

西口にはツアーバスが多く停車しています。それ専用のバス停のようなものがあれば、それこそ周辺の活性化につながるという話はなかったのでしょうか。江戸川台発着のバスは多い印象を受けます。

石井道路建設課課長補佐

駅舎の目の前は路線バス専用の駐車場となっていますが、千葉銀行前に、ツアーバスが停車できるスペースを確保しています。

北原委員長

西口の方々からそのような要望があれば、そのような計画になったかもしれませんね。

亀山都市計画部次長

必ずしも地元歓迎されるものではないかとも考えられます。やはり朝早いという事情があるかと思えます。朝の通勤時間には通行の妨げになる場合もあります。

北原委員長

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、委員会として市長の諮問に対する答申をまとめたいと思います。

色々なご意見をいただきましたが、大きな部分では事後評価シートの「(4)定性的な効果・発現状況」の部分に、ヒアリングの結果などを書き込んでいただき、「(5)実施過程の評価」の部分も含めてしっかりと書いていただくことを条件として、本事業計画については妥当と思われるという答申でよろしいでしょうか。

異議なしの声

北原委員長

異議なし、全員賛成ですので、そのように答申したいと思います。

本日の議事は、これですべて終了となりますので、進行は事務局にお返しします。ありがとうございました。

事務局

北原委員長、ありがとうございました。

以上で本日の街づくり委員会を終了します。現地視察も含めまして、長い時間お疲れ様でした。